

ツキノワグマを知ろう！

信州は、ほぼ全域にツキノワグマが暮らす自然豊かな地域です。
信州で暮らす私たちにとって、クマに関する正しい知識を身につけることは、安全に生活するために必要です。

クマ授業の特徴：専門家が、クイズを交えながら楽しく、わかりやすく解説します。

講師：瀧井暁子/浜口あかり/岸元良輔（1～2名で伺います。長野県クマ対策員です。）

内容：クマの体、食べ物、動く範囲、人里近くに来る理由、出会わないための対策、出会った時の対応など

対象学年：学級単位から全校まで柔軟に対応します。（学年に応じた内容を用意します）

持参するもの：毛皮、頭骨、足型、骨、食痕、糞内容物の乾燥標本など

※紙芝居やかるとを活用することもできます。お気軽にご相談ください。



クマ授業の様子（班ごとに毛皮や頭骨を用意します）



本物の毛皮や頭骨に触れ、体について学びます



糞内容物の乾燥標本
（種やアリ・ハチも観察できます）



ツキノワグマかるとを使った学習



NPO法人信州ツキノワグマ研究会



一般向け



小学生向け



紙芝居/絵本
「信州版森の子クマの子」



信州版ツキノワグマかると



当研究会は、1995年に上高地のホテルの生ごみに餌付いた2頭のクマを捕獲・放獣・調査をしたことをきっかけに発足しました。2004年よりNPO法人として活動しています。発足以来、科学的根拠に基づいた被害対策の推進と正しい知識の普及に努め、調査研究、被害対策および普及啓発を行っています。現在の会員数は、一般市民、研究者や狩猟者など約120名。
お問合せ：kumaken_shinshu@yahoo.co.jp（担当：瀧井）